

# 令和4年度 年間授業計画

東京都立小平高等学校

教科	科目名	単位数	対象学年	履修形態
数学	数学Ⅲ	7	3	選択必修

教科書	補助教材・教具等
高等学校数学Ⅲ（数研出版）	4 プロセス数学Ⅲ（数研出版） はぎとり式練習ドリル数学Ⅲ【標準編】（数研出版） チェックノート数学Ⅲ受験型（数研出版）

科目担当者	本間 寛
-------	------

期間	授業計画	予定時数	具体的な指導目標
1 学 期	中間検査まで 第1章 複素数平面 第2章 式と曲線 第1節 2次曲線 第2節 媒介変数表示と極座標 第3章 関数	25	複素数平面について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 平面上の曲線がいろいろな式で表されることについて理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。 数列や関数値の極限の概念を理解し、それらを事象の考察に活用できるようにする。
	期末検査まで 第4章 極限 第1節 数列の極限 第2節 関数の極限 第5章 微分法 第1節 導関数	30	
2 学 期	中間検査まで 第6章 微分法の応用 第1節 導関数の応用 第2節 いろいろな応用 第7章 積分法とその応用 第1節 不定積分	30	合成関数の導関数について理解し、合成関数及び三角関数、指数関数、対数関数の導関数を求める。 積分法についての理解を深めるとともに、その有用性を認識し、事象の考察に活用できるようにする。 実践的な問題演習を通して、様々な問題に対応できる能力を養う。
	期末検査まで 入試演習	30	
3 学 期	学年末検査まで 入試演習	10	

評価の観点・方法
基本的な知識・理解を身に付け、数式で表現し処理する技術に習熟し、数学的な見方・考え方の良さを理解し、これらを問題解決に役立てているか。 課題テスト・定期検査の内容・結果、演習への取り組みの姿勢。